

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年2月8日
明治大学の所属学部・研究科	文学部/文学科/フランス文学専攻
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023年2月2日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	フランス
留学先大学	リヨン第2大学(日本語名) Université Lumière Lyon2(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	フランス語/フランス語
留学期間	2022年9月~2023年1月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬~7 月下旬、 2 学期/9 月中旬~2 月上旬	1 学期:9 月上旬~1 月下旬 2 学期:1 月下旬~6 月下旬 3 学期: 4 学期:
学生数	28497 人
創立年	1973 年



テットドール公園

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料	0€	0円	
宿舍費	1685€	237585円	家賃271€/月、100€手数料、230€保証金(問題なければ返ってくる)
食費	765€	107865円	
図書費	45€	6345円	教科書はなし
学用品費	35€	4935円	体育用シューズ、バドミントン協会登録費
携帯・インターネット費	119.94€	16911.54円	Free という携帯会社で契約。一ヶ月 19.99€初回はSIM代10€
現地交通費	105€	14805円	定期25€/月、初回カード代5€ TCL カードでリヨン市内のトラム、地下鉄、バス、ケーブルカーに乗れる (☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0€	0円	
被服費	212.97€	30029円	冬服
医療費	0€	0円	
保険費	557€	78537円	形態:明治大学指定海外保険
渡航旅費	1500€	211500円	
ビザ申請費	48€	6768円	
雑費	9€	1269円	現地での日本大使館で出生証明書受け取り
その他		円	
その他		円	
合計	5081.91€	716550円	



リヨン出身のポールポキューズがプロデュースする Brasserie le Nord のクネル

渡航関連

渡航経路	
往路	出発地:日本(成田空港) 目的地:パリ(シャルルドゴール空港) 経由地:ヘルシンキ(フィンランド)
復路	出発地:パリ(シャルルドゴール空港) 目的地:日本(羽田空港) 経由地:
渡航費用	
①	往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:21万円
②	片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL 公式オンライン) <input type="checkbox"/> その他()	



大学の中庭

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Crous) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学の斡旋

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

留学前に部屋タイプを選ぶことができ、私は交流を求め、個室でキッチンのみ共有タイプを選択したが、友達の部屋を見た時に完全個室の studio タイプの方が広いし、快適そうだなと思ったので、そちらの選択を勧めます。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり (治療を受けた場所:)2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)なし
あり (問題の内容や相談した人等:スリに遭い、警察に行った)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

事前にネットで調べました。または友達との会話で情報を得ました。帰国前日にたくさんのスーツケースを持って友達とホテルに向かっていた際に Perrache 駅のエレベーターの中でイタリア人らしき二人組にホシエットに入っていた財布を盗まれました。同じエレベーターにフランスの方が乗っていて、その方が犯行を目撃していて、エレベーターを出た直後に「鞆の中を確認して」と言われ、財布がなかったことに気づいたので警察に電話してくれてそのまま Hôtel de ville 駅にある警察署に連れていってくれた。そこで日本語の用紙で被害届を書いた。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のWi-Fiの接続は非常に良くて日本にいる友達と電話する時なども問題はありませんでした。フランスはスーパーやショッピングモールなどでは電波が全く繋がらないことがよくあります。そのためだいたいWi-FiがありますがWi-Fiもそんなに強くないです。TGVにもWi-Fiがありますがそんなに強くないです。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

留学前に日本でソニー銀行のカードを作ったので家から持って来た€の現金とそのカードを使用していました。フランスの銀行口座を作りましたが、私は一度も使うことがありませんでした。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

アジア食材店がたくさんあるので基本的に現地で何でもそろいますが、日本で買うより高いのでどうしても食べたいものやだしや醤油などの調味料は持っていく方が良いと思います。体調が悪くなった時にすぐに服用することができるように普段から服用している薬や冷えピタを持っていくと便利だと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位 <input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)	
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Lyon et son histoire	リヨンとその歴史
科目設置学部・研究科	UFR TT
履修期間	1 学期
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数授業(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Demien Mertinez, Jean-Louis Gaulin
授業内容	考古学的にリヨンの歴史について学ぶ。3 回ほど校外学習があり、ガロ・ロマンの円形劇場やリヨン旧市街を先生の説明と共に回る。
試験・課題など	学期末評価としてグループ発表(先生が提示したテーマか歴史に関する自分たちで考えたテーマ)
感想を自由記入	<p>この授業は留学生用の授業なので、グループワークなどで他国の留学生と交流を深めることができました。</p> <p style="text-align: center;">ガロ・ロマン時代の 円形劇場</p> 

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Lyon, une métropole européenne ?		リヨン、ヨーロッパの大都市?	
科目設置学部・研究科	Temps et Territoires		
履修期間	1 学期間		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	少人数授業(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回		
担当教授	Jacques Defosse		
授業内容			
試験・課題など	期末試験一回(先生が提示したリヨンの地域の写真の説明を書く) グループで取り組み作った PPT または動画提出		
感想を自由記入	この授業も留学生用の授業です。最初と最後の授業以外は校外学習でした。リヨンの街にある建物や場所について、この地域の建築にはこのような特徴があるということや、昔と今とはどのように変化していったのかなどリヨンの街をより詳しく学ぶことができます。この授業は火曜日の 3 限にあったが、私は 2 限に別の授業を取っていたので、毎回 2 限が終わってから学校ではない指定された場所にすぐに移動する必要があったので移動が少し大変でした。しかしリヨンで留学しているからこそ学べる内容だと思うので、お勧めします。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
FEMI langue française cours		フランス語の授業	
科目設置学部・研究科	CIEF		
履修期間	1 学期間		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	10 人程の少人数授業(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 100 分が 2 回		
担当教授	Helene Diaz→Aline Miramand(途中から変更)		
授業内容	フランス語でフランス語を学び授業です。		
試験・課題など	10 月末に一度試験(作文)、グループ発表 1 回(テーマ自由) たまに次回の授業までの課題が出る		
感想を自由記入	この授業では、選んだカードのテーマについてその場で考え、発表することや、グループ発表の練習として先生が用意した広告の中から一枚選び、その広告がなぜ良いのかについて発表するなど、発表の機会が多くあり、フランス語が上達する機会になったと思う。クラスや先生によって内容が大きく変わると思う。初めの先生が 10 月のバカンスが終わった後から体調不良で来られなくなってしまい、先生が変わることになったが、その変更した先生も学期末にコロナと体調不良により最後の二週間ほど私たちの授業がなかったのが少し残念だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Compétences orales intermédiaires B1		中級口頭スキル B1
科目設置学部・研究科	CIEF	
履修期間	1 学期間	
単位数		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	少人数授業(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Christine Thollot	
授業内容	フランス人が文章を読むときに省略して読む発音の仕方や常に席は 3~4 人のグループとなっていて、音源を聞いた後、メンバーと聞こえた内容の確認など。	
試験・課題など	10 月から期末にかけてグループ発表(5 分くらいの動画を探し、視聴後クラスメイトに質問を投げかけ、ディスカッションのテーマを決める) 期末筆記試験(リスニング)	
感想を自由記入	この授業も留学生用の授業で、初回は全員と自己紹介をし合う機会があり、お互いのことを知ることができた。先生がわりとパッションの高い人で少し怖かった。外国人の名前の発音が難しいことが多く、私の名前は読みやすかったらしく、先生に覚えられていたため、何度もあてられたので少し大変でした。リスニング音源がとても早く聞き取るのが難しく、初めは全然聞き取ることができなかったが、だんだんと耳が慣れてきて最初よりは聞き取れるようになったと思う。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Badminton		バドミントン
科目設置学部・研究科		
履修期間	1 学期間	
単位数		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	選択式授業(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 105 分が 1 回	
担当教授		
授業内容	最初に列になって少しランニングやステップなどをする。その後自由にペアで打ち合い、授業の後半はひたすらシングルスでの試合。最後の授業にダブルスをした。	
試験・課題など	なし	
感想を自由記入	週に 1 回運動する機会があつて息抜きになった。この授業に応募する際に本当は別の時間のバドミントンを取りたかったが、早めに埋まっていたのでオンラインでのスポーツの履修は早めにやるべきだと思った。授業を取る前にホームページに経験者のみとは書かれていなかったが、ルールの説明などは一切なかったのでバドミントンのルールを知らずに参加するとけっこう大変なのかなと思った。先生がリヨンの大会に出ないかという提案をしてくれたおかげでフランスでバドミントンの大会に出場するという貴重な経験をすることができた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction l'histoire de l'art		美術の歴史入門	
科目設置学部・研究科	UFR TT		
履修期間	1 学期間		
単位数	単位なしで受講		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回		
担当教授	Cristophe Henry, Damien Delille		
授業内容	ルネサンスから 19 世紀末までの歴史的及び芸術的パノラマに基づいて、西洋の近現代美術史の主要な作品の紹介。美術史とは何か。西洋の表象において図形、動き、自然はどのような役割を果たしているか、芸術家、美術批評論とは、私たちとアートの関係において、美術館と市場はどのような位置を占めているか、art moderne と art contemporain という用語は何に対応しているか。		
試験・課題など	単位なしで受講したのでなし		
感想を自由記入	初めは留学生は大学のお-めいじのようなサイトに登録することができないので、レジュメなどを見ることができず、教授の言っている事を聞き取るのに必死だったので聞こえた単語をとにかくノートに書きだしていた。画家の名称をフランス語で言われるので日本とは名前が違うのでフランス語での名前や作品名や専門的な美術用語を事前に学んでおくべきだと思った。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Art contemporain Genre (19e-20e siècle)		現代アート(19 - 20 世紀)	
科目設置学部・研究科	UFR TT		
履修期間	1 学期間		
単位数	単位なしで受講		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回		
担当教授	Damien Delille, Laurent Baridon		
授業内容	19 世紀初頭から 1945 年までの芸術と視覚文化への歴史を、近代化の始まりから米国への前衛芸術の移転まで概観する。ダビテの学校以降の芸術施設と新古典主義芸術。芸術家とロマンチズム。技術的な差異医原性がある時点での画像。現代性とアカデミズムの論争。「前衛」の誕生と主義(リアリズム、印象派、フォービズム、キュビズム、ダダイズム、シュルレアリスム)の追求から、抽象芸術の誕生とモダニズムに関する議題まで。		
試験・課題など	単位なしで受講したためなし		
感想を自由記入	ジャポニスムなどの影響から日本の作品に影響を受けた芸術家たちの作品が登場する場面が多く、なじみのある作品についても詳しく知ることができた。とにかく教授の話すスピードが早いので聞き取るのに苦労した。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



La fête des lumières 際のローヌ川沿い

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	語学の勉強
	4月～7月	語学の勉強
	8月～9月	語学の勉強、情報収集
	10月～12月	出願+学内選考発表
留学開始年	1月～3月	語学の勉強
	4月～7月	航空券購入、ビザ申請・取得、レジデンスの申請
	8月～9月	渡仏、一学期開始
	10月～12月	中間試験(10月下旬)留学生用授業の期末試験(12月上旬)
留学/帰国年	1月～3月	通常の期末期間(1/2~1/21)、帰国(2月上旬)
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	



Le festival Lumière のポスター



La fête des lumières の際のフルヴィエールの
ノートルダム大聖堂



La fête des lumières の際の
Cathédrale Saint Jean

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

私がリヨン第2大学を選んだ理由は、留学生用の授業が充実していたことと、クラス分けされたフランス語を学ぶ授業があったからです。留学に行く前はリヨンの街のことを詳しく知らなかったのですが、実際に行ったら安全で、街の人は優しい人が多かったです。また、リヨンはフランスの第二の都市と言われていることもあり、パリとはまた違いますが、普通にショッピングモールやレストランも多く、日本から持って来られずに買う必要があった日用品や服なども揃えることができました。フランスの他の都市に比べると栄えている方だと思います。また、食の街と言われるリヨンには旧市街にたくさんのブションと呼ばれるリヨンの郷土料理を食べることのできるレストランがあります。そこではリーズナブルな価格で前菜からデザートまで食べることができます。リヨンはフランスの南の方にありますが、パリまで電車で二時間、場所によりますがドイツ、スペイン、イタリアにも電車で行くことができます。フランスの大学はバカンスがとても多いのでその際には他の国を訪れてみることも、自分の持つ価値観や考えを変化する良い機会になります。

私は今回の留学が人生初めての海外渡航だったので海外に対する不安が大きかったのですが、世界には優しい心を持った人が必ずいるので、困った時は誰かが助けてくれます。海外で優しさを体感したことで、留学前に抱いていた海外に対する不安を消すことができました。海外に留学するという勇氣さえあれば必ずそこでは良い経験をすることができます。留学が終了して、留学に行かなければ良かったなどという後悔は一つもありません。リヨンは比較的安全な場所だとは思いますが、パリや他の国などでは危険を感じた他者の体験を耳にし、自分で自分を守ることがいかに重要かを学びました。特に女性であれば夜遅くまで外出しないことや、人気のない所に行かないこと、予め危険な場所を調べたり、聞いたりしてそこには近づかないなどです。やはり海外に行くとは日本の安全さに慣れている私たちはスリなどから狙われているのでより警戒する必要があります。特に多くのスーツケースを持って移動する際には必ずタキシ移動する事をお勧めします。

留学中に大学以外にも語学学校に通ったり、なるべく多くの人と関わりたいということ意識して行動し、その結果多種多様な人と巡り会えたことで、自分とは違う国の人の考え方などから新たな発想を持つことができました。私はレバノンやシリアの人と出会ったことが印象的です。なぜなら自分がその国に行くことはあまり考えたことがなく、日本にいて中東の方と話す機会というのも少ないかと思えます。だからこそフランスに行ったから出会えたという人も多いのではないかと感じます。この経験から様々な視点から物事を見ることができるようになったのではないかと考えます。留学中はネットワークを軽くし、誘われたらいろんな所に参加してみるの大事だと思います。

そして、交換留学で留学に行くメリットとしては、フランスで自力で住居を探すことはとても大変だということを知ったことがあります。交換留学の場合は、事前に向こうが手配してくれるので確実です。また、明治大学の代表で来ているというプラスの責任感が生まれ、留学中は時間の流れがとても早いと感じる中で、限られた期間の中でより集中し、目的達成のために努力することができます。と思います。

リヨンはそこまで大きい都市ではないですが、交通の便が発達していてとても暮らしやすいです。フルヴィエールの丘から街を見下ろすノートルダム大聖堂や公園の中に動物園があり夏にはハラが咲き誇っているテッド・ル公園、リヨンの街を発達させたロヌ川とソヌ川など魅力がたくさん詰まった所です。リヨン出身で映画を発明した、リュミエール兄弟にちなんで10月にはLe festival Lumière (映画祭)があり、去年はティム・バートンがリヨンに来て、その期間中は世界各国の有名な映画が映画館で上映されていました。12月には四日間ほど、La fête des lumières という祭典があり、リヨンの市役所や美術館、大聖堂などが毎年変わるデザインのプロジェクションマッピングによりイルミネーションが施されます。この期間はリヨンを訪れるとてつもないほどの観光客がいるので、祭典開始の前日に見ることができるのはリヨンに住む人々の特権です。もちろんパリは多くの観光名所があり有名な都市ですが、長期間住むのであれば私はリヨンに住みたいです。そのくらいリヨンのことが好きになりました。この素敵なリヨンという街をたくさんの人に知って欲しいです。